

第53回東北大会

第二戦日本製鉄鹿島戦

明治安田生命 11 安打・日本製鉄鹿島 18 安打 9 対 8 で辛うじて明治安田勝利

日本製鉄鹿島	0	1	1	1	0	1	0	4	0	8
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
明治安田生命	1	6	0	2	0	0	0	0	X	9

バッテリー

日本製鉄鹿島 佐田(1回 1/3 6失点)・諸見沢(1/3 1失点)・守屋(4回 2/3 2失点)
金城(2回 0失点) — 松田

明治安田生命 三宮(5回 3失点)・小玉(2回 1/3・4失点)・石毛(1/3 1失点)
中崎(1回 1/3) — 森川

本塁打 陶山(8回 2ラン)・高嶋(8回 2ラン) 日本製鉄鹿島

二塁打 樫村 2本・生田目・今里 日本製鉄鹿島

永廣・高瀬 2本 明治安田生命

明治安田は1回裏一番橋内レフト安打2番新城ライトへヒットで橋内三塁へ無死3・1塁のチャンスに3番岸本の併殺崩れ間に橋内先制点1対0。

2回日鉄鹿島は5番・6番連打8番の二塁打で1対1の同点。

2回裏明治安田は5番泉澤四死球で出塁6番永廣・7番高瀬の連続二塁打と8番森川レフト適時打等でこの回一挙6点の大量点、7対1とする。日鉄鹿島は3回・4回に各1点追加7対3と追撃。

4回裏2死走者なしから6番永廣四球7番高瀬のライト越し適時二塁打8番森川のため押しライトへ適時打でこの回2点、9対3とする

6回に1点返され9対4と5点リード

8回に2ランを2本打たれ9対8と切迫9回中崎投手が9回を三者凡退に打ち取り辛うじて勝利を勝ち取った。

「ツチダの独り言」

日鉄鹿島に18安打と撃たれ過ぎこれでは前半の大量得点も安心した試合ができない。

昨日のJR東日本東北戦では打撃陣の貧打。日鉄鹿島戦では投手陣の崩れ。東京都二次予選の戦いに不安感が生じ、正直東京都企業春季支部大会優勝による組合せ有利も不安。ベンチスタッフも選手も禰の紐を機ちりと締めなおして油断なく戦ってほしい。

	シート	氏名	打数	安打	得点	打点
1	二	橋内	3	1	1	1
2	中	新城	5	3	1	0
3	指名	岸本	4	0	0	1
4	左	森	5	0	0	0
5	中	泉沢	2	0	1	1
	右	鈴木	0	0	0	0
6	右・中	永廣	2	1	2	0
7	遊	高瀬	4	2	2	2
8	捕手	森川	4	3	1	2
9	一	日置	1	0	1	0
	一	福岡	1	1	0	0
		計	31	11	9	7

2023年5月10日

土田唯雄